

『高校生ビブリオバトル愛知県大会2023』で紹介された本



※本の紹介コメントは、発表者のみなさんが考えてくれました。

番号	本のタイトル	著者名	紹介コメント
1	赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。	青柳 碧人	赤いずきんとワインやビスケットが入ったバスケット・・・みなさんご存知、「あの」赤ずきんがパワーアップして童話の世界を飛び出していく！？童話×ミステリーの異色コラボによる、新しい世界観をご堪能あれ！！
2	明日の僕に風が吹く	乾 ルカ	恵まれた中学生生活を送るも、ある事件が原因で希望を失い、学校に行けなくなった川嶋有人。雅彦叔父さんに誘われて、北海道に転校することに。果たして有人は、楽園と呼ばれる島で、立ち直ることができるのか？
3	あの夏が飽和する。	カンザキ イオリ	カンザキイオリさんの曲に基づくオリジナルストーリー。主人公はかつての友人琉花を亡くしている。その琉花と瓜二つの瑠花。彼女とは、パパ活で出会うのだが、ある日彼女から衝撃の過去が語られる。主人公はどうするのか。
4	命売ります	三島 由紀夫	生きることや社会に辟易した主人公羽仁男が「命売ります」と広告を出し、自らの命を売る商売を始める。そんな羽仁男の命を利用しようと、変人が集まり繰り広げる騒動の中で、命や死について問うスリリング&ドラマチックエンタメ小説！！
5	推し、燃ゆ	宇佐見 りん	推しを推すことが生きがいであった高校生のあかり。しかし推しがファンを殴り炎上。そこからどうやって生きていくのか。そしてこの本は思春期の「生きづらさ」も描かれている。思春期の人、推しがいる人におすすめの一冊。
6	蹴りたい背中	綿矢 りさ	世間一般的な「青春小説」とは一線を画した型にはまらない全く新しいジャンルの本です。ぜひ、世界観にひき込まれてみて下さい。
7	さよならの言い方なんて知らない。	河野 裕	「彼はルールの中で能力を選んだんじゃない。目的をルールに落とし込んだ。」この本はそんな彼、香屋歩の奇想天外な小説です。誰よりも生きようとする少年は、戦争があたりまえとなった世界でいったい何をするのか？
8	十二単衣を着た悪魔 源氏物語異聞	内館 牧子	「何のために生きるのか。」漠然とした不安に押しつぶされそうになる現代。幸せな人生とは何か、どのように生きるのが正解なのか、一つの答えを、強く、したたかに、美しく千年前を生きた「悪魔」が魅せてくれます。
9	心臓の王国	竹宮 ゆゆこ	読書メーター読みたい本ランキング1位を獲得した至高の一冊。17歳の青年2人が「せいしゅん」を追い求める美しい命の物語。読後の衝撃と感動を多くの人に味わってほしい作品。
10	世界でいちばん透きとおった物語	杉井 光	人気ミステリ作家の宮内彰吾が死去した。宮内と交際していた女性との間に生まれた子供が本作の主人公。「死んだ親父が書いていた小説を知らないか」宮内の長男からの連絡をきっかけに始まる、衝撃の物語。
11	世界でいちばん透きとおった物語	杉井 光	この本は「家族についてどれくらい知っているのか」と考えさせられ、紙書籍だからこそ味わえる小説の新しい読み方に出会える。電子書籍派の人、小説が苦手な人にこそ一度は読んでほしいミステリー作品です。
12	それは誠	乗代 雄介	誰だって大人には内緒で冒険したいと思ったことがあるはずだ。この話は不登校の主人公が交流がない級友と少し計画から外れた修学旅行をするという小さな冒険の物語です。
13	同志少女よ、敵を撃て	逢坂 冬馬	「戦いたいのか、死にたいか」ドイツ軍に家族を殺され、故郷を焼かれ・・・絶望の淵にあった少女、セラフィマは、そう問いかけられます。復讐の為に狙撃手となり、戦争に参加する中で彼女が見出した生き様とは・・・
14	時計じかけのオレンジ	アントニー・バージェス	愛すべきクソ野郎、アレックスの物語。

『高校生ビブリオバトル愛知県大会2023』で紹介された本



※本の紹介コメントは、発表者のみなさんが考えてくれました。

番号	本のタイトル	著者名	紹介コメント
15	猫を抱いて象と泳ぐ	小川 洋子	からくり人形を操り、チェス盤の下に広がる海で、猫を抱いて象と泳ぐ、小さな名もなきチェスプレーヤー。彼の唇には産毛が生え、体は11歳のままだった。チェスと共に歩んだ彼の人生を、そっと見守ってみませんか？
16	浜村渚の計算ノート	青柳 碧人	文部科学省により、理数系科目の授業を削減されてしまった日本。数学の地位向上のためにテロを起こす『黒い三角定規』。そのテロを止めるために一人の少女、浜村渚が立ち向かう！
17	Bullets	坂上 秋成	学校生活に生きづらさを感じる女子校生、佐島ルイが夜の街で出会った転校生、卯木リョウマと出会い恋に発展するラブストーリー……。から一転、ひょんなことから二人が手に入れた拳銃を巡って、物語は逃亡劇へ変貌を遂げる……。
18	本日は、お日柄もよく	原田 マハ	結婚式のスピーチでもよく使われるフレーズ、「本日は、お日柄もよく……。」衝撃の出会いをした、ごく普通のOLと伝説のスピーチライターが織り成す、笑って泣いて勇気をもらえるお仕事小説です！言葉の“可能性”、探してみませんか？
19	medium 霊媒探偵 城塚翡翠	相沢 沙呼	この本は、霊媒探偵と名乗る城塚翡翠と、推理作家として難事件を解決してきた香月史郎が出会い、ともに事件を解決する特殊設定ミステリーです。特に、最後の章で回収される伏線と大どんでん返しが見所の作品です。
20	闇祓	辻村 深月	高校生で委員長の滞りのクラスに謎の転校生白石要がやってくる。「今日、家に行っていないかな？」不審な言動を繰り返す白石。もう、ページをめくる手は止まらない。辻村深月が送る至高のホラーミステリ。
21	四段式狂気	二宮 敦人	幸せな日常を送る女子高生マユリ。愛された彼女の秘密が明かされるとき、物語は真の姿を現す。
22	弱法師(よろぼし)	中山 可穂	能をモチーフに、決してかなわぬ、はかない恋が描かれた短編集。若き作家は一目ぼれした女性編集者に100本の小説を捧げる約束をする。それは命を削り死と隣り合わせになる日々のはじまりであった。「卒塔婆小町」
23	わたしを離さないで	カズオ・イシグロ	主に主人公の回想によって物語が進んでいきます。自分のことのように共感できるリアルな人間関係が書かれる中に違和感を感じる部分もあり、少しずつ違和感の正体が見えてくる独特な恐怖感を味わえます。

愛知県子供の読書活動

